

文教厚生常任委員会視察研修委員長報告

文教厚生常任委員会は平成19年11月21日から22日にかけて、長崎県平戸市及び、西海市において研修を実施しました。先ず平戸市においては、「三世代いきいき交流事業」と「高齢者地域ふれあい事業」を研修しました。三世代いきいき交流事業は、活力ある地域づくりに取り組んでいる老人クラブを支援しています。しかし、予算が少額で今後の活動に悩んでおられました。次にふれあい事業は在宅の高齢者が生き生きとした老後の生活を支えるボランティア団体を組織し、総合的な福祉の向上を支援するものでした。西海市の社会福祉協議会は、その役割を整理され運営に自信を持たれ「祭壇の貸付事業」等、多種多様でユニークな発想の事業を展開されており、聞くもの全てが参考になり、この事業を通して、市民の福祉向上に役立つ事を常に念頭において活動されていました。神崎市においても、行政からの委託事業だけでなく独自の事業に積極的にも取り組む時期が来ている事を全員が感じた研修内容でした。



西海市社会福祉協議会にて研修



テープカット うまく切れるかな

平成20年1月31日、ちよだ保育園の落成式が行われました。定員150名の大規模な保育園。園庭も広く、園内の施設もよく整った明るい保育所です。4月の開所が待ち遠しいですね。

待望のちよだ保育園完成



広い舞台でのびのびと（城田保育所）



「よさこい」元気はつらつ（境野保育所）